

病害虫防除技術情報第9号

平成24年7月10日
三重県病害虫防除所

ブドウべと病の発生が増加しています！

- 1 対象作物 ブドウ
- 2 対象病害虫名 べと病
- 3 発生状況 やや多い

巡回調査圃場では、6月上旬における発生は平年並でしたが、7月上旬には平年と比べて多い状況になっています(表)。また、べと病に対する耐性が高い品種であるデラウェアにおいても多発圃場が確認されています。

一般圃場でも、発生の目立つ圃場が散見されています。

表. 巡回調査圃場におけるブドウべと病の発生状況

調査時期	発病葉率 (%)		平年比
	本年	平年	
6月上旬	0	0.1	平年並
7月上旬	11.8	3.0	多

8圃場、各50葉調査の平均値で、平年値は最近10年間の平均。
調査圃場はデラウェアと安芸クイーンが各2圃場、巨峰が4圃場。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 1か月予報(7月6日・名古屋地方気象台発表)では、期間の前半は梅雨前線や低気圧の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多い予想です。今後しばらくの間は感染に好適な条件が続くと考えられますので、気象情報を参考にして、薬剤散布を実施してください。
 - 2) 三重県では10月頃まで発生します。発生が認められている圃場では、直ちに防除を行ってください。発生が認められていない圃場でも、予防防除を徹底してください。なお、薬剤選定にあたっては、各地域の防除暦を参照してください。
 - 3) 同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が生じる恐れがあります。異なる作用機構の薬剤を使用してください。
 - 4) 発病した葉や花穂・果房などは伝染源となります。また、病原菌は主に落葉の病斑組織内で越冬し、来年の伝染源にもなります。発病部位は取り除いて圃場外へ持ち出し、適切に処分してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。